

平成14年度ホタテガイ採苗情報(第8報)

平成14年5月31日
 発行:岩手県水産技術センター
 協力機関:沿岸地方振興局水産部

「県中南部では、付着が続いています。」

1 ラーバの出現状況

5月30日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。ホタテガイラーバの出現数は、殻長200 μ m未満、以上ともに5個/トンと、前回調査時(合計43個/トン)より減少しました。

なお、調査時の水深10m層の水温は10.9 $^{\circ}$ Cで、前回調査時に比べ0.4 $^{\circ}$ C低下しています。

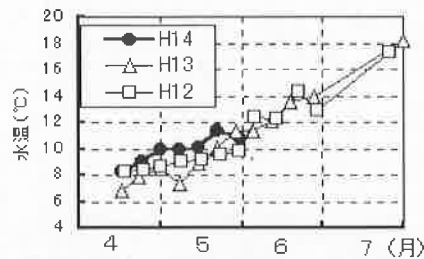


図 唐丹湾における水深10m層水温

2 試験採苗器への付着状況

5月24日以降の調査では、全調査地点で付着稚貝が確認されています。

付着稚貝数は、宮古地区で50個/袋以下と少ないものの、その他の地点では120個/袋以上と、依然としてまとまった付着が確認されています。

なお、唐丹湾では、その3割程度が付着直後の個体でした。

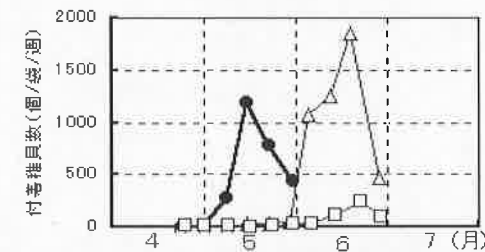
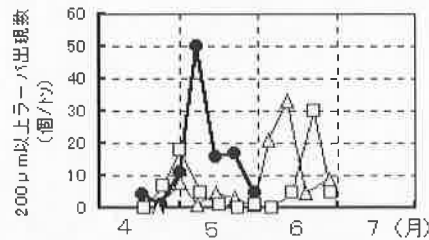


図 ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

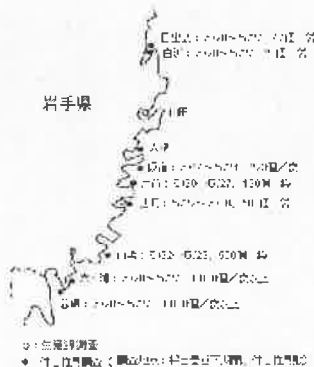


図 調査地点および付着稚貝調査結果

県中南部以南では、ラーバの出現数は減少したものの、依然として付着間近の大型の個体が確認され、多数の付着稚貝も確認されています。

しかも、付着直後の稚貝も相当数確認されていることから、稚貝の付着はまだ続いているものと考えられます。

次報は、6月7日頃発行する予定です。